

第8回

日本ファブリー病 フォーラム

日時 2012年7月22日

会場 ホテルグランドパレス

開会の挨拶

新潟大学大学院医歯学総合研究科
腎・膠原病内科学

成田 一衛 先生

ファブリー病フォーラムは第8回目の開催となります。2004年にファブラザイム®が発売され、2005年から毎年1回、全国から多くの領域の先生方が一堂に会して、ファブリー病の病態や治療に関する検討を行ってきました。初回の参加者は50人足らずでしたが、今回は200名近い先生方にお集まりいただいております、ファブリー病の認知度がどんどん高まり、関心も集まるようになったといえるでしょう。今回のフォーラムでは、診断における問題点、臨床的な重症度評価法、新しいガイドブック「ファブリー病診断治療ハンドブック2012」の3点について報告いただき、最後に特別講演として水島昇先生にオートファジーに関するお話をさせていただきます。本フォーラムで得たことを明日からのファブリー病の診療に役立ててくださいますようお願いいたします。

ファブリー病の診断における問題点

[座長]

新潟大学大学院医歯学総合研究科 腎・膠原病内科学

成田 一衛 先生

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 心筋症病態制御講座
(現・垂水市立医療センター 垂水中央病院)

竹中 俊宏 先生

ファブリー病の診断における問題点 E66Qに関連して

東京大学医学部附属病院 神経内科

三井 純 先生

ファブリー病の診断における問題点 E66QとM296I

明治薬科大学 生体機能分析学教室

兎川 忠靖 先生

グロボトリアオシルスフィンゴシンによる男性 透析患者におけるファブリー病のスクリーニング

新潟大学大学院医歯学総合研究科 腎医学医療センター

丸山 弘樹 先生

質疑応答

第1部

ファブリー病重症度スコアDS3

[座長]

東京慈恵会医科大学 DNA医学研究所 遺伝子治療研究部

大橋 十也 先生

東京大学大学院医学系研究科 神経内科学

後藤 順 先生

ファブリー病重症度スコアの導入 —データベースへの応用

東京慈恵会医科大学 小児科学講座

若林 太一 先生

大阪大学のファブリー病患者における DS3評価法の検討

大阪大学大学院医学系研究科 小児科

酒井 規夫 先生

第2部

「ファブリー病診断治療 ハンドブック2012」の紹介

[座長]

和温療法研究所

鄭 忠和 先生

[演者]

東京慈恵会医科大学 DNA医学研究所 遺伝子治療研究部

大橋 十也 先生

第3部

オートファジー： 細胞質からリソソームへ

[座長]

東京大学大学院医学系研究科 神経内科学

辻 省次 先生

[演者]

東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 細胞生理学分野

水島 昇 先生

特別講演

総括

東京慈恵会医科大学 遺伝病研究講座

衛藤 義勝 先生

閉会の挨拶

東京大学大学院医学系研究科 神経内科学

辻 省次 先生